

母校・加古川南高で講演会 「自分の可能性 ふたをしないで」

コンサルティング会社社長

山中さん体験語る



OBとして在校生に講演を通じてエールを送るトイトマの山中哲男社長
＝加古川南高校

加古川南高校（加古川市加古川町友沢）の卒業生で、外食産業などで数々の大型事業を裏で支えてきたコンサルティング会社「トイトマ」（神戸市）社長の山中哲男さん（42）による講演会が同校であった。在校生ら約700人がOBの体験談に耳を傾けた。

山中さんは加古川市出身で、2001年に同校卒業。地元の工場に勤務後、飲食

創業し「丸亀製麺」の海外1号店となるハワイ出店支援を手がけた。他にも淡路島西海岸のエリア開発に携わり、大阪・関西万博の事業化支援チームプロジェクトチームのサブリダーとしても活動する。

講演会は「加古南生が社会で活躍する秘訣」として、昨年12月にあった。山中さんは、高校で陸上競技に没頭していたといい「当時は夢を持っていなかった。ただ誰かの夢ややりたいことを手伝い形にするのは好きだった」と振り返った。

生徒らに向けては「（自分の持つ）可能性をうまく付き合ってほしい」とし、失敗や悩みから「無意識に自分の可能性にふたをしている人が多いし、非常にもつたいない」と話した。自身が大学受験や転職活動などで挫折した経験を例に「悩みなんで数カ月でなくなるし、あの失敗があるから今の自分がある」と語った。

また「短期的な失敗を深く考えすぎず『じゃあ次どうするか』とすぐアクションを取ればどんなことも乗り越えられる」とエールを送った。（宮崎真彦）